

2010年9月5日、6日静岡の熱海でありました。おかやまからは村上さん、尾島さん、中村さん、井上さん、大隅の5名で参加しました。

昨年も代表者会議あり、会議のテーマは老後のこと、健康のこと、仕事ことを中心に学習交流を行いました。全国のいくつかの生協で中堅部や壮年部などが結成されています。その中で報告では壮年部が活動する事によって労働活動全体の活性化をめざし、仕事や老後のことでの悩みが多く全国的な交流を継続して行っています。

現状ではグローバル化を勝ち抜く為に中高年のリストラが対象になっています。また成果主義、業績賃金制度のなかで中高年はどう職場で役立っているのか？体力的には衰えてきていますが、学習意欲は若者にも変わらないレベルです。中高年をめぐる現状ではこれまでマネジャーから拡大へ配送へいような変化が発生しています。このことにより多くの問題をかかえています。

今回は働く者が安心して働ける職場環境を学び、この事を軸に交流会に参加しました。記念講演では兼子厚之講師から「シニア世代の職場における現状と役割を考える」。この中で感じた事は、私の思いと労働に於いて生協運動の理念をさらに熟成させ、かつ今を問い直し、組織に未来創造への夢とロマンを育み合う健全な生協運動をつくりたい「生協の都合」から「組合員のくらしの都合」で遂行される事業・経営組織へ変革することの大切さを知りました。

求められるマネジメント革新では、統制・管理から個々の人の力を引き出し、生かすことにより、リードはコーチングからシンキング、サポートへ仕事を介して個々の人の自己実現の向かうマネージメントへ！

管理とは→正しい事をつかさどる事であり、人を生かす事でもある。これは人を自分の手の中に入れて人を管理化するものでない。生協の職場の現状の一端では、降してくる数値目標と課題では、機械的な結果評価と処遇はモチベーションは下がる事を言われています。(人事制度もじっくり考えていかなければ)ベテラン職員の果たす役割では、自己の永く豊かな経験や知識を次世代に継承する使命と役割が大切であり、後輩たちへの「生協人としての体現モデル」として、例えばああいう人になりたいと思う人物を形成する必要があると実感しました。

記念講演からは、今自分達が関連している仕事を垣間見える事ができました。事例報告ではコープネット加藤さんから報告がありました。この中では本部定員の減少で多くの人が宅配センターなどの現場へ異動されています。これも経営構造改革に基づいた結果によるものである。コープネットもおかやまも同じである事を知りました。ご本人の思いは異動時の動機付け、生協の現状を正しく解説し、この異動がどのような理由で実施されるのか、説明をして欲しいと思います。本人の仕事意欲も大幅に後退されるものです。

各部会からの報告に於いてははずみから、中堅部の役割を考える中では愚痴の言い合いから行動を起こしていく事の大切さを実感しました。職場に対しては、中堅部だけではなく、若い層も一人ぼっちにしないことを学びました。部会の方も毎月実施されています。岡山もミドルエイジの労組員が職場の1/3を占めています。今年度からは3ヶ月に一度は会議を実施していきたいと思っています。

以上

生協労連（仮称シニア・壮年・中堅部）交流会に参加して

倉敷東部分会

10.9.15 中村泰明

来る9/5日～6日熱海市で開催された交流会に参加させて頂きました。中央執行委員の方より声をかけて頂き参加する事にしたのは、全国の生協で働く中高年層の現状や他生協の状況についての交流が出来たらと思い参加しました。

<交流会より>

- ・グローバル化を勝ち抜くという名のもとに、成果主義、業績賃金制度の中で中高年は使い物ならないとリストラの対象になっている。
- ・2000年前後よりの正規職員の採用抑制や従来の正規職員の仕事が非正規職員に置き換えられた事による仕事の量や質とともに正規との格差是正、均待遇が進んでいない。（生協労連の組織数の内、非正規は7割）
- ・長引くデフレ、厳しい経済状況、激化する競争状況下で①生協の事業も厳しさ②雇用の厳しさが続く中③定年延長が大きな課題となっている。
- ・早期優遇退職制度や大きな職種変更、業態間移動、若い上司よりの職場でのパワハラなどにより職場を去る人が継続して生まれている。
- ・一方で人事部局も中高年への対策に苦慮している。

以上の様に生協事業の厳しい状況のなかで中高年も厳しい状況おかれている事がおかやまに限らず全国的であることが改めて共有認識しました。

また、他生協との交流会、分散会の中から、おかやまのミドルエイジについてももっと交流が出来たらと思いました。ただ、‘愚痴’だけで終わる交流（飲み会）では、問題解決はしないと他生協の方も言われていました。

最後に、これから私達に続く職員が定年まで働く事に不安を抱かない職場である事が大切で、そうなる様に今回の交流会に参加する事で現状を前向きに捉えてミドルエイジを通じて改善できたらと思いました。

以上